



蓬萊山と権現山のほぼ中間、標高1060mの高原にある小女郎ヶ池。池のほとりから北東に位置する蓬萊山の山頂を望む。

標高1千mを超える比良山系の打見山と蓬萊山の稜線から広がるびわ湖バレイは、冬はスキー場、春から秋にかけては自然豊かなレジャーゾーンとして人気がある。山麓と打見山山頂を結ぶロープウェイを利用すれば、びわ湖バレイを起点にトレッキングが気軽に楽しめる。

とりわけ蓬萊山から南の権現山までのびる尾根は、琵琶湖のダイナミックな眺望が満喫できる天空の散歩道だ。このほぼ中間点に、静かに水を湛えた神秘的な小女郎ヶ池がある。比良山系に点在する池の中で最も高地に位置するこの池は、地元では雨乞いの池として崇められていて、次のような不思議な伝説も残されている。

比良・蓬萊山の雨乞いの池と大蛇伝説

山麓の村に久右衛門と孝という夫婦がいた。ある日、山へ薪を取りに行つたお孝は、この池の近くで美しい青年に出会い、乳飲み子を残して夜な夜な池に通うようになる。ところがこの青年、実は池の主である大蛇の化身。驚く久右衛門とわが子に、お孝は詫言ながら池の中へと入つてい

た。以来、この池はお孝にちなんで孝女郎池と呼ばれるようになり、それがいつしか小女郎ヶ池になったという。トレッキングコースは急な勾配はあるものの、視界は広く開けていて、笹原をわたる風がとても心地よい。池の畔でしばし佇み、夫婦の悲哀物語に思いを馳せるのもいいだろう。

“Walk on”とは

「歩き続ける」という意味の他に、舞台をちょっと歩くだけの通行人のような「端役」の意味があります。多彩な伝説や物語をもつ歴史豊かな“近江”という舞台を、登場人物のひとりになった気分で歩いてみてはいかがでしょうか。

小女郎ヶ池

伝説と歴史の舞台を歩く

大津市
DATA

- 取材日 2013年5月10日
- 天候 小雨
- 歩行距離 約4.5km
- 歩行時間 約2時間



びわ湖バレイには、多彩な遊戯施設やスポーツ施設が整備されている。眺望の素晴らしさから2007年には「恋人の聖地」にも認定。春から夏にかけて咲き誇る季節の花が、来訪者の目を楽しませる。



スイセンの丘から見たびわ湖バレイ(5月撮影)



モデルコース

ロープウェイ山頂駅 25分、蓬萊山山頂 20分、小女郎峠 5分、小女郎ヶ池 5分、小女郎峠 20分、蓬萊山山頂 25分、ロープウェイ山頂駅

※移動時間はあくまでも目安です。

※土・日・祝、夏休み期間中はJR志賀駅からびわ湖バレイ前(山麓駅)まで路線バスが運行。平日はマイクロバスが代行運転(当日、事前に下記まで要連絡)。お問い合わせ:びわ湖バレイ ☎077-592-1155